

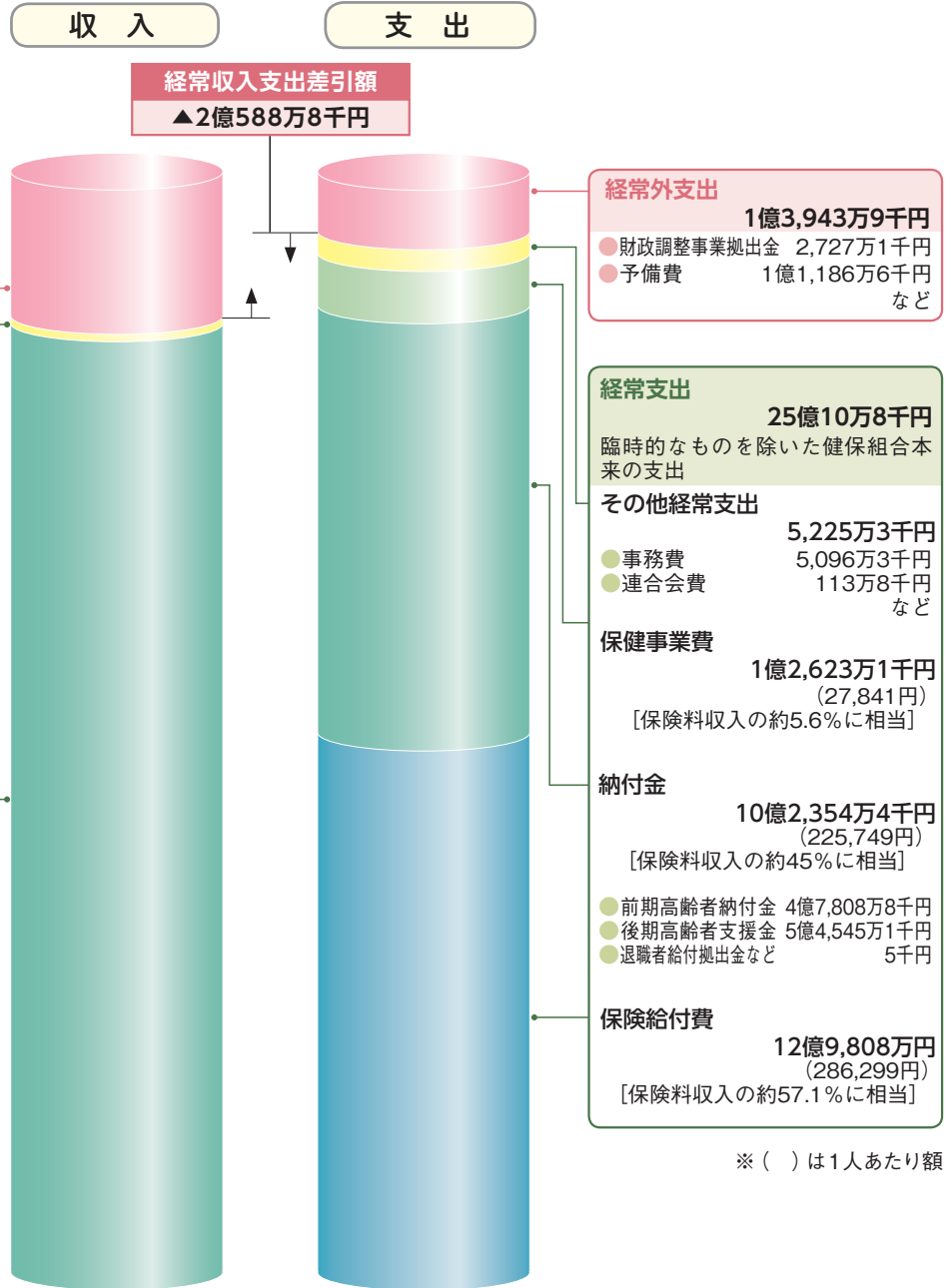
令和6年度 予算が決まりました

保険料率は健康保険・介護保険ともに据え置き

予算の基礎数値	
被 保 険 者 数	4,534人
平均標準報酬月額	364,241円
保 険 料 率	98/1000
事 業 主	49/1000
被 保 険 者	49/1000

経常外収入	
3億4,532万7千円	
●調整保険料収入	2,727万円
●別途積立金繰入	3億円 など

経常収入	
22億9,422万円	
臨時的なものを除いた健保組合本来の収入	
●国庫負担金収入	59万4千円
●雑収入	1,741万5千円 など
保険料収入	
22億7,315万3千円	(501,357円)



※ () は1人あたり額

介護保険

予算の基礎数値	
徴収対象第2号被保険者数	2,130人
平均標準報酬月額	373,846円
保 険 料 率	18/1000
事 業 主	9/1000
被 保 険 者	9/1000

収入	
科 目	金 額
介護保険収入	2億1,765万5千円
雑 収 入	1千円
収入合計	2億1,765万6千円

支出	
科 目	金 額
介護納付金	1億9,946万円
介護保険料還付金	1千円
雑 支 出	1千円
予 備 費	1,819万4千円
支出合計	2億1,765万6千円

健康保険

◀◀◀ 健保組合を取り巻く状況 ▶▶▶

▶ 全世代で公平に支え合う「全世代型社会保障制度」の構築が急務

わが国は急速な高齢化や医療の高度化等により医療費の増加が続く一方で、高齢者医療の支え手である現役世代は減少にあり、その負担は既に限界に達しています。こうした危機的状況から脱却するためには、全世代で公平に支え合う「全世代型社会保障制度」の構築が急務となっています。

健保連発表の「令和4年度決算見込と今後の財政見通しについて」によりますと、全国の健保組合の経常収支差引額は1,365億

円の黒字となりましたが、4割の健保組合が赤字という厳しい状況です。なお、収支の改善要因は、新型コロナに伴う高齢者医療費の一時的な減少によるもので、今後は納付金の増加が見込まれます。

当健保組合ではこのような社会の方向性に適切に対応しつつ、みなさまの健康管理・健康づくりを支える事業を推進してまいります。

◀◀◀ 令和6年度予算の状況 ▶▶▶

▶ 経常収支は2億588万8千円の大幅な赤字

令和6年度は、被保険者数と平均標準報酬月額が前年度よりやや増加となり、主な収入である保険料については、前年度比1億8,134万7千円増を見込んでいます。

一方、支出においては、医療費などの保険給付費は、前年度比254万6千円減を見込んでいます。高齢者医療制度にかかる納付金は、「前期高齢者納付金」が前年度比559万7千円増、「後期高齢者支援金」が前年度比5,279万9千円増を見込んでおり、トータルで前年度比5,839万3千円増となる見込みです。

これらを差し引きした結果、経常収支では2億588万8千円の大幅な赤字となりますが、

別途積立金より3億円を繰り入れることにより収支の均衡を図っています。

令和6年度からは第3期データヘルス計画がはじまります。より効果的な保健事業を展開してみなさまの健康保持増進を積極的に支援させていただきます。みなさまにおかれましても、保健事業をご利用いただくとともに日頃から健康づくりに励まれ、また受診の際には、かかりつけ医を持つなど適正に受診していただき、ジェネリック医薬品の積極的な利用、そして日頃の健康管理に留意して、医療費の節減にご協力いただきますようお願いいたします。

介護保険

◀◀◀ 令和6年度予算の状況 ▶▶▶

▶ 介護保険料率は1.8%で据え置き

令和6年度においても単年度での収支均衡が図れることから、介護保険料率についても据え置くこととしました。

また、40歳から65歳までの介護保険2号被

保険者数は年々増加傾向にあり、標準報酬月額および標準賞与額についても、前年度より増加するものと想定し、介護保険収入を2億1,765万6千円と見込みました。

先の組合会において、当健保組合の令和6年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。